

女性・母親・会社員の視点から小平の“未来”を創造します！



竹井 よこ 通信

第3号 (2015年3月発行)

小平の未来づくりネットワーク
〒187-0041 小平市美園町1-1-15
TEL/FAX: 042-207-1232
E-mail: info@takeiyoko.com
公式HP: http://takeiyoko.com/

発行元 小平の未来づくりネットワーク 代表 竹井 よこ

無所属

小平市政に私たちの声はどこまで届いているか 「ICT」で「見える化」が必要ではないでしょうか。

ICT (情報通信技術) を市民ニーズの分析や教育分野に活用することで、「今必要なこと」「困っていること」「助けが必要なこと」が浮き彫りになります。

また、ICTの活用は、長期的に市政の効率化につながるため、将来を担う子ども達のためにも必要な政策といえるでしょう。

○ ICTで、市民の声をすぐ市政に届けることが出来るように

千葉市では、昨年からICTを用いた「ちばレポ (ちば市民協働レポート)」の運用を開始。千葉市内で起きている様々な課題 (道路が傷んでいる、公園の遊具が壊れている・・・など) について、市民がICTを使ってレポートすることで、市民と市役所、市民と市民の間で、それらの課題を共有し、合理的、効率的に解決することをめざす仕組みとなっています (右図参照)。

市民が気軽に声をあげ、これを市政に反映することが出来れば、私たちにとって政治がより身近な存在と感じられるようになるはずです。

小平市には、政令指定都市である千葉市のように潤沢な予算がある訳ではありませんので、市政におけるICTの活用について、まずは出来ることから取り組んでいきたいと考えています。

○ ICTを活用し、一人ひとりにあった教育で学力アップ

教育にICTを活用することで、たとえば、紙の「通信簿」という一律指標ではなく、きめ細やかな学習状況 (各授業の進捗状況、テストで分かったところ・分らなかったところなど) を個人別にシステムで記録することができます。そのデータを活用することで、子どもの成長に合わせた教育の提供が可能になります。あわせて家庭での学習状況も記録することで、特別なケアが必要な子ども達へのアプローチも可能になるのではないでしょうか。

また、授業にタブレットなどのICT機器を活用することにより、グローバルで通用する人材の育成やプログラミングの習得をはじめ、時代に合った教育の提供をめざします。

子育て、人材育成、地域活性化、介護、防災・・・ICT (情報通信技術) には、あらゆるシーンで無限の利用価値があります。「竹井 よこ」は、ICT企業での勤務経験を活かし、最先端ICTで人と人をつなぎ、育て、守ることをめざします。

私たちも『竹井ようこ』さんを応援しています！！



小平市長
小林 正則



千葉市長
熊谷 俊人
(元会社の仲間)

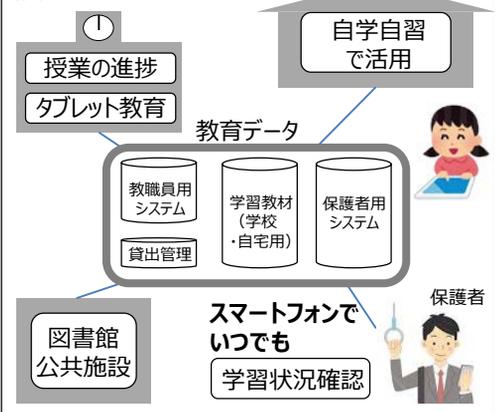


千葉市では、市がスマートフォンアプリを提供し、市民がカメラ・位置機能を使って市へ申告する仕組みを運用中

レポートの進捗状況



教育でのICT活用イメージ



「竹井ようこ」は、女性・母親・会社員としての豊富な経験を活かして、将来を見据えた小平の未来づくりに取り組んでいきます。

「竹井ようこ」のプロフィール

小平市仲町在住

【略歴】

1966年 1月28日 滋賀県生まれ
名古屋市立菊里高校卒業
南山大学外国語学部英米科卒業

1988年 4月 日本電信電話(株)入社
国際部などで業務経験を積む

1991年 4月 (株)情報通信総合研究所 派遣
Didier & Associates法律事務所(ベルギー) 派遣
欧州各国での情報通信政策について調査・分析

1994年 6月～98年 9月 出産・育児のため休業等
職場復帰後は育児に仕事に多忙な日々を過ごす

1999年 7月 NTTコミュニケーションズ(株)
情報通信の最前線で事業企画・法務などの業務に従事し、現在に至る

家族：夫、長男(大学生)、長女(高校生)、柴犬(6歳)
趣味：スポーツ観戦(ラグビー、バスケット、ラクロスなど)、社会派ドラマ鑑賞
好きな食べ物：鶏肉とこんにゃくの煮物(亡母のレシピ)
資格：中学校・高等学校教諭免許状(英語)
二級知的財産管理技能士

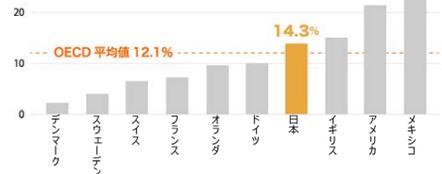
2児
の母



知っていますか？ 子どもの貧困

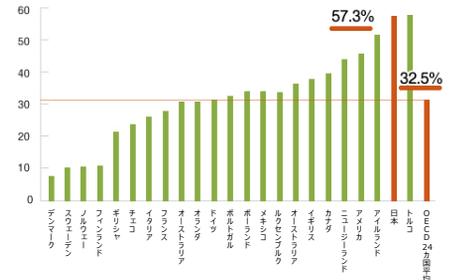
1. OECD諸国で高い貧困率の日本

各国の子どもの貧困率



2. ひとり親世帯の貧困率は最悪クラス

ひとり親世帯の子どもの貧困率



上のグラフは2005年データによるものですが、昨年、日本における子どもの貧困率は、16.3%と過去最悪を更新しました。「竹井ようこ」は、母親の視点から、まちの未来をつくる子どもたちが、家庭環境に関わりなく教育を受けられる機会の提供、教育現場の改善に取り組みます。

【参考】グラフは2005年ユニセフデータ等を元に特定非営利活動法人 3 keys作成より抜粋

「竹井ようこ」はめざします！

1. 「子育てナンバー1」のまちに！
2. ワーク・ライフ・バランスが実現できるまちに！
3. グローバルで通用する人材が育つまち、若者が住み続けたいと思えるまちに！
4. 高齢者を孤独にしないまちに！
5. 最先端ICT(情報通信技術)の活用で人と人をつなぐまちに！



あなたの「声」をお寄せ下さい

小平市政をこうしてほしい！

竹井ようこ「小平の未来づくりネットワーク」
〒187-0041 小平市美園町1-1-15 TEL/FAX:042-207-1232
E-mail: info@takeiyoko.com
公式HP: <http://takeiyoko.com/>

編集後記



「竹井ようこ」です。最近、街頭演説中など温かい声をかけていただくことがあり、感謝の気持ちが高まるのと同時に、今後皆様の期待にお応えしたいと身が引き締まる思いです。日々勉強ととらえ、精進して参ります。